

小さな悪役 タバコシバンムシ

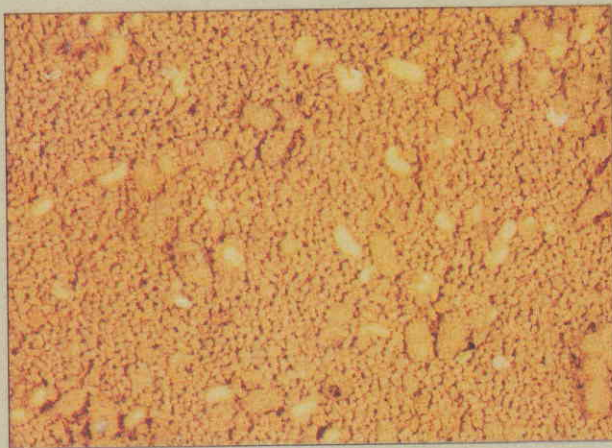
東京の
生活害虫

7



●タバコシバンムシ成虫
(体長約2~3mm)

●幼虫とマユ



●ココアに発生した幼虫



●ドライフラワーにあいた脱出孔

世界各地に分布する害虫で、被害を与える範囲が広いので有名です。

形態と被害

成虫は体長2~3mm、赤褐色で丸みを帯びています。室内でよく見つかりますが、成虫は餌をとりません。

成熟した幼虫は体長3mmほどで、白いウジ状、C字形をしています。

幼虫は、乾燥した植物質を中心にさまざまなものを食害します。たとえば、穀粉、乾めん、菓子、チョコレート、各種のスパイス、ココア、ハーブ、漢方薬、タバコ、ドライフラワー、タタミ、油かすなど。また動物質では干魚、ペットフード、昆虫の死骸などです。

タタミなどでは、表面に成虫の脱出孔(直径1~2mmの穴)があきますので、発生の目印になります。たくさん発生すると、寄生蜂のシバンムシアリガタバチと一緒に発生し、人を刺すことがあるので、注意してください。

よく似た虫にジンサンシバンムシがあり、生態は同様ですが、東京ではタバコシバンムシが多くみられます。

防除

被害を受けた品物が小さければ電子レンジで加熱するか、冷凍庫へ一晩入れておくと駆除できます。発生源が不明なときはタタミの裏、ドライフラワー、ペットや魚の餌などもよく調べてください。タタミは加熱乾燥が効果的です。

